

人生全力で楽しく

1. 教育を考える一言

「信頼している!! 自分らしくおもいつきりやれ、後悔するな。いつも心は sunshine」

2. 背景

これは中学生の時に担任兼クラブの顧問に言われた言葉です。私は中学校1年生でサッカー部のキャプテンになりさまざまなプレッシャーに押しつぶされそうになっていました。その中でこの言葉は自分を変えてくれた、転機となった言葉です。「いつも心は sunshine」とはその先生の口癖です。その先生は陽気で情熱的で元気な、笑顔を大切にする先生で、叱るときは親のように叱ってくれるけじめのある一面も持っていました。私が教師になろうと考えるきっかけとなった先生です。ただ笑顔になるのではなく心から笑顔になることの大切さ、信頼感の大切さを身に染みて感じました。今でもこの言葉は私の支えになっている言葉です。

3. 考察

先生が大事にしていたのは「信頼」、「チャレンジ」、「笑顔」でした。

「信頼している。自分らしくおもいつきりやれ、後悔するな。」は偶然にも父親にも言われた言葉です。大学院進学を考えていた際に掛けてもらいました。教師として働くか、進学に迷っていましたが、まだやりたいことがあった私はこの言葉で大学院進学を決意することができました。

先生は「自分が信頼しないと生徒をダメにしてしまう。周りがどんなに文句を言おうと気にするな」と言っていました。教師が生徒を信頼することで、生徒は大きく成長できます。また、そのことは周りにも影響し自然と文句が出ない雰囲気も作ると考えます。やはり、信頼関係とは教師と生徒の間で非常に重要なことです。これは、生徒と教師の間という教育に関してだけ言えることではなく、全てのことに言えると考えます。

チャレンジすることに失敗は付き物です。しかし、失敗とは次に活かすために改善できるものです。それに対して、後悔とは過去に囚われることです。これは次に活かすことができません。人生壁にぶち当たることがたくさんあります。その度にその壁を避けると決してうまくいきません。壁に負けてもいいから何回も挑戦して壁を越えてほしいという意味を込めて、父親、先生は私にこの言葉を言ってくれていました。

笑顔になることで重要なのは心から笑顔になることです。「笑顔はすべてを救ってくれる」のように、笑顔というものは精神的に落ち着きを得ることができ、周りの雰囲気を良くする働きがあります。

生徒に信頼してもらうためには時間が掛かるかもしれませんが、重要なのは生徒を信頼することや支えることだと考えています。

参考文献

長友佑都『上昇思考』角川書店、2012年